

みなみいせ 2015



34号

2015.8.1

議会だより



主な内容

平成27年 第2回

6月定例会…………… 2～3

一般質問…………… 4～12

南伊勢町議会基本条例を制定… 13

議員視察レポート…… 14～15

みんなのつぶやき…… 16～17

みんなでやっとなるで～ ほか…… 18

続く伝統!

—方座浦浅間祭—

発行／三重県南伊勢町議会
〒516-0194 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦3057
編集／議会広報特別委員会

平成27年 第2回定例会

6月16日から18日までの3日間で、6月定例会が開催され、平成27年度補正予算案5件、認定1件、工事請負契約の締結2件、条例の一部改正2件、発委1件、その他の議案1件が原案とおり可決・承認されたほか、2件の報告がありました。

また、一般質問では、議員9人が質問を行いました。



議案

- 平成27年度南伊勢町一般会計補正予算（第4号）

全員賛成

- 平成27年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

全員賛成

- 平成27年度南伊勢町介護保険特別会計補正予算（第2号）

全員賛成

- 平成27年度南伊勢町下水道事業特別会計補正予算（第1号）

全員賛成

- 平成27年度南伊勢町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

全員賛成

- 町道路線の認定について

- 小方竈 さくら線（さくら保育園進入路）

全員賛成

- 工事請負契約の締結について（2件）

- 南島中学校発電設備工事
- 南勢中学校発電設備工事

全員賛成

- 南伊勢町長及び副町長の給料及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例

全員賛成

- 南伊勢町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例

全員賛成

報告

- 繰越明許費繰越計算書について（2件）

発委

- 南伊勢町議会基本条例の制定

全員賛成

その他

- 議員派遣の件について



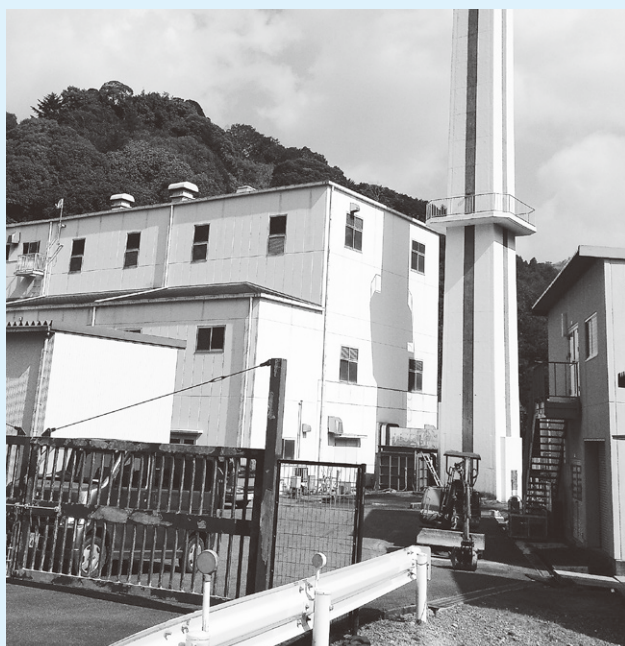
町道さくら線

補正予算 主な質疑

長寿命化を

問 議員 今回行われる「クリーンセンターなんとう」の焼却炉施設維持補修工事により、施設使用年数はどの程度伸びるのか、また焼却炉施設の耐用年数は。

答 環境生活課長 今回行う工事により、2年程度、使用年数は伸びる。またこのような焼却炉施設の耐用年数は20年程度としたものだが、今年、施設の精密機能検査を行い、今後の維持修繕方法について検討したい。



町民の一体感を

問 議員 10月に南勢中学校で開催される町民体育祭は、合併10周年記念の冠事業でもあるが内容は。

答 教育長 今年度開催される町民体育祭は、合併10周年記念の冠事業でもあるので、いつも以上に盛り上がるよう努めたい。まだ具体的な内容は決まっていないが、早急に決定したい。

下校手段の充実を

問 議員 老朽化のため町バス（29人乗り）を新たに購入することだが、このバスを南伊勢高校のテスト期間中、生徒の下校に活用できないか。

答 環境生活課長 町バスの活用ではなく、三重交通と臨時バスの運行を協議している。





中山 盛 議員

鵜倉半島周遊道路の整備は

舗装修繕等を実施していく 町長

問 鵜倉半島周遊道路の整備を検討してはどうか。

答 町長 全体的に舗装などの傷みがあるため、昨年度は約480メートルの舗装工事を実施した。簡易な舗装修繕については町職員が作業を行っている。維持管理については、職員が



暑い中の清掃作業ご苦労様

定期的および災害時などにパトロールを行い安全確保に努めるとともに、草刈りボランティアとして、地元地区の方や建設事業者、町議会議員のご協力を得て、町職員とともに路肩の除草や路面清掃を行っている。今後も、引き続き舗装修繕を実施していく。

南島ふれあい図書室は

土曜日を含めて週4日の開館 教育長

問 4月から南島ふれあい図書室が、日曜日休館となったが、町長、教育長の3月定例会での発言に反するのでは。

答 教育長 平成26年10月から平成27年3月までの期間において、試験的に日曜日の開館を実施したところ、来館者



多くの人に利用してほしいふれあい図書館

数が少なかったことから、4月からの日曜日閉館を決め、現在は土曜日を含めて週4日の開館となっている。教育委員会としては、本の貸し出し業務を行う本来の業務と、地域のコミュニティとしての居場所作りの場として多機能な図書館業務を考えている。

その他の質問
●公会計制度の導入について



倉田 育 議員

人口減少抑制の取組は

未来を担う人材の育成を まちづくり政策監

問 まちづくり政策監は、人口減少の抑制にむけた戦略策定を任期2年の中で具体的にどのように取り組むのか。

「人材の育成に力を入れたい。」ということだが、町を担う子どもたちに対してどのような教育をしていくのか。



小中学校でも活用の「あばばいっ南伊勢」

答 まちづくり政策監

義務教育に関しては、南伊勢学検定テキストブック「あばばいっ南伊勢」の小中学校での活用、地域と学校の密接な連携の中での五感を使った体験学習やふるさと教

育、地域の未来を担う人材の育成、少人数の学校だからこそでできる指導体制づくりを考えている。また人権尊重の精神を育成し、命を守る防災教育を教育委員会や学校と連携しすすめていきたい。

27年度の新体制 新たな人事は

副町長及びまちづくり政策監の登用を 町長

問

県内トップの高齢化率・人口減少問題を抱える当町において、小山町長はどのような考えをもって、4月からの新たな人事と役場内の組織改正を行ったのか。27年度の新体制の説明を。

答

町長 近年の著しい人口減に伴う地域活力の低下、南海トラフを震源とする巨大地震・津波の脅威など、当町を取り巻く課題が山積する



副町長と若手職員の地方創生ワーキング

中で、特に若者定住促進と町民の安全・安心を最大の課題として取り組むため、新たな体制として副町長およびまちづくり政策監の登用を行った。

そのほかの主な人事・組織体制としては、2名の女性管理職の登用、種苗センター長の設置、複数の係長職の任用を行っている。

その他の質問

● 高台移設の基準について

地方創生の総合戦略は

町民の皆さまと まちづくり政策監



岡本 眞 議員

問

地方創生の取組について、町民みんなが自分たちの地域に自信と誇りを持って誰が訪れても驚きと感動があるまちづくりをするため、総合戦略についてのまちづくり政策監の考えは。

答

まちづくり政策監
最も重要なのは、土台作りだと考える。

今回の地方創生は、町の現状に関する認識を共有し、適切な危機感をも



地方創生総合戦略セミナーの様子

ちそれに伴って、どうしても町が自治体として自立することができなことを、役場職員はもちろんだけ多くの町民にも自分事として考える機会にしてみたいと考えている。

町の総合戦略は、誰がやるのか、いつやるのかを具体的に書き込んだ顔の見える戦略とし、役場の手厚いフォローアップのもと町民の皆さまと事業を遂行していきたい。



未来を担う子ども達への教育

問

地域に根ざした教育について、少子化がどんな進行するか、未来を担う子どもたちには、生きていくため

個性を伸ばすことが必要では
個性に応じた能力を伸ばしていく 教育長

答

教育長
少子高齢化の進行やグローバル化・高度情報化の進展する今後の社会を生き抜く子どもたちには、個性や価値観の多様性、ちがいを認め合う態度を育み、共に生きる力を育てるとともに、一人ひとりの個性に応じた能力を伸ばしていくことが必要。

当町の学校においても、子どもたち一人ひとりの心身の発達段階や特性などを十分考慮しながら、町の学校教育目標として、『自ら学ぶ力を身につけ、個性と能力を伸ばし、心豊かにたくましく今を生き、未来を拓く子ども』の育成』を掲げ、日々の学校教育を展開している。

その他の質問

● 巨大地震への備えについて



手塚征男 議員

真砂寮の高台移転問題は

基本設計に向けて進めている 町長

問 町内で建設がすす
められている特養
施設の進行状況について、
3つの特養の完成予定
と、開所はいつになるの
か。また、真砂寮の高台
移転問題は、どこまで進
んでいるのか。

答 町長 地域密着型
特別養護老人ホー
ム『龍船ヒルハウス』29
床は、本年4月に開所し、
6月1日現在、24名が入
所。次に広域型の特別養
護老人ホーム『メデイカ
ルケア伊勢志摩』70床に
つきましては、本年8月
開所予定で工事が進めら
れている。

真砂寮の高台移転につ
いては、わたらい老人福
祉施設組合と協議を進め
ており、今後それぞれの
構成市町内で検討してい
ただくための具体的な事
業規模を明らかにするた
め、用地取得も視野に入
れながら基本設計に向け
て進めている。



新たに開所された特別養護老人ホームの様子

改善の必要性は

満たされていると考える 教育委員会事務局長

問 小学校の給食施設・
ボイラー・食器洗
浄機・炊飯器・食材保管室
などの状況はどのように
把握しているか。また、
人員の配置について改善
の必要な点はないか。

答 教育委員会事務局長
各学校からの聞き
取りや要望によって把握
しており、衛生面で指摘
のあった箇所も、報告な
どにより状況を把握する
とともに即時の改善を
進めている。調理員の配
置については、調理員定



今日の給食なあ～にかなo(^o^o

その他の質問

- 観光客を増やす取組について
- 県に強くはたらきかけていたきたいこと
- 電力会社が新しい原発をつくることについて



掛橋 靖 議員

最優先施策は

政策を総合的に連携して 町長

問 人口減少の歯止めについて、町が考える最優先施策は。

答 町長 当町が直面している著しい人口減少と少子高齢化、南海トラフを震源とする地震・津波の脅威などに対応するため、若者定住対策と防災事業を最優先課題と考えている。

その中で人口減少への対応としては、若者の出逢いのきっかけとなる場

づくりなどが大切であると考えて、若者が安心して地域に定着することができるようするためには、子育て・教育・医療・介護・産業振興・社会基盤と生活基盤などの政策を総合的に連携して取り組んでいくことが大切。これらの政策を地震・津波災害対策とともに一つひとつ着実に実現していきたいと考えている。



「南伊勢ええやん！プロジェクト」

現状の課題と対策は

必要に応じた除草作業を 教育長

問 教育環境の徹底した整備について、小中学生の通学における現状の課題と対策は。

答 教育長 国道260号を徒歩あるいは自転車通学するルートについては、部分的に路幅がせまくなっている

所や、季節によって草が生い茂ってくる所があることが課題となっている。未整備区間である船越地区の国道については、左側一列通行など、常に安全を意識して通学するよう児童・生徒に指導している。さらに、地域ボランティアの協力を得て安全な通行をするよう指導している。また、通学路の草刈りについては、伊勢建設事務所や役場建設課へ、適切な時期に依頼するよう要望をしているほか、PTA作業や環境整備員、シルバー人材などによって、必要に応じた除草作業をしている。



元気にいってらっしゃい!!



田中喜一郎 議員

飲食店の情報発信を

店舗リストを作成 町長

問 当町では、町外からも高い評価を受ける農林水産物や加工した産品が増えてきた。当町産食材を使った飲食店の情報発信をもっとすべきでは。

答 町長 これまでも町食材を使っていた。町外飲食店での町食材PRは職員が実際にお店に足を運びお願いしてきた。しかしながら、町内飲食店の紹介については実施していなかったことから、店舗リスト作成のうえ、町の食材を食べられる「南伊勢町物産取扱店」として

また、観光を重要な産業として、外国人をターゲットにした取組も必要な時期に来ていると思うがどうか。

ホームページへの掲載やパンフレットの作成を考えた。

インバウンド（訪日外国人旅行者）の取組は、観光協会や商工会と話しながら進めていきたいと考えている。



リアス式海岸が織り成す地元の美味しい食材を



週2のトレーニングジム結果にコミットできるか

スポーツ教育の目的は

コミュニケーションと

健康増進を 教育長

問 文部科学省の外局として「スポーツ

庁」が設置されるが、現在行われている当町のスポーツ教育はどのようなものか。

体育祭を開催している。

また、スポーツ推進委員・スポーツネット・元気シニアクラブによる各スポーツ教室や講座を行っている。小中学生については各スポーツ少年団の活動をしている。

答 教育長 当町では、スポーツを通じ

「体を動かすことの楽しさを知ることで、普段から運動をするきっかけづくり」を目的に毎年町民

その他の質問

●電気自動車・急速充電器について

福祉サービスの利用促進は

広報活動・相談支援の強化を図る 町長



山本周也 議員



助け合い支えあう

問

新規に福祉サービス申し込む方の中には、かなり状態が悪くなつてから申請されるケースがあると聞く。ひきこもりや家族の抱え込みをなくすため、障がい者福祉サービスの利用促進を願いたい町長の考えは。

答

町長 障がい者福祉サービスは、障がい者の生活支援のために実施されるものであるが、生活が立ち行かなくなつてから初めて把握されるケースもあり、課題と認識している。今後、「広報みなみいせ」や行政チャネルなどを活用して、わかりやすく、また受け入れやすくなるようお知らせしていきたい。同時に、相談支援の強化を図っていく。

問

「広報みなみいせ」6月号に、南伊勢学検定テキストブック「あばばいっ南伊勢」が町内の小学生620人に配布されたことだったが、町教育委員会として、この冊子について、どのような活用計画があるのか。

答

教育長 「地域の人材・教材を生かし、地域に根ざした教育活動を進める」という町教育重点目標の実現に向けて、27年度予算により、町内全小中学校の児童・生徒分を購入し、すでに総合学習などで活用している。

また、来年度以降も学校での授業に活用し、地

冊子の活用計画は

地域愛の育成を目指す 教育長

その他の質問

- 介護報酬改定による地域密着型介護施設の影響について
- 保育料無料化促進による子育て環境の充実に



冊子の表紙に地元高校生が協力



山本 芳隆 議員

どうする人材育成

想像力を働かせる

場づくりを まちづくり政策監

問 地方創生の面から、
当町はまちづくり
政策監の目にはどのよう
に映っているか。また、
任期2年間で具体的にど
のような人材育成の活動
をしていくのか。

答 まちづくり政策監
事業の延長で物事
を考えない、20年後、30
年後の町のための施策を
作る意識改革を行ってい
く。役場の職員による地
方創生若手ワーキンググ
ループを創設し、想像力

を働かせる場づくりを行
っていく。
また、他地域の事例な
どを調べつつも、当町に
合った独自の施策立案を
していける柔軟な考え方を
身につける機会を提供
していく。



新たな風を町に

問 当町におけるジェ
ネリック医薬品の
普及率はどれくらいか。
また、行政は普及のため
の指導などはしていない
のか。

答 町長 国民健康保
険のデータ（平成
27年度3月分）によると
当町では、一般35・6%、
退職分で37・6%となっ
ている。町立病院の外来
処方分を総合すると、
ジェネリック医薬品の処
方は60%を超えと思わ
れる。

また普及のために、国
民健康保険の新規加入・
更新時など、保険証やし
おりと共に「ジェネリッ
ク医薬品希望カード」が
ついたリーフレットを配
布している。

ジェネリック医薬品の普及率は 60%を超える 町長

ジェネリック医薬品を お勧めします！

安心その1
さまざまな
病気や症状に
対応しています

安心その2
開発コストが
抑えられているので
低価格です

安心その3
有効成分は
先発医薬品と
同じです

安心その4
国から承認された
お薬です

ジェネリック医薬品を希望される
場合は、医師または薬剤師にお気軽
にご相談ください

一般社団法人
三重県薬剤師会

全国健康保険協会 三重支部
協会けんぽ

三重県
けんぽれん 三重連合会

お薬は用法・用量を守って飲んで

若者定住対策は

高台住宅の確保も検討

町長



岡田和夫 議員



安心安全な高台はどこに

問

一時的な活性化対策ではなく「持続可能な南伊勢町」をつくるために必要と思われる、若者定住対策について、当町の若者の定住化を、どのように進めるのか。

答

町長 定住化にはあらゆる施策を連携させ総合的に推進していくことが必要で、安心して住み続けられる生活環境を創っていくことが大切。安全で安心して暮らせる高台への住宅の確保についても検討している。

問

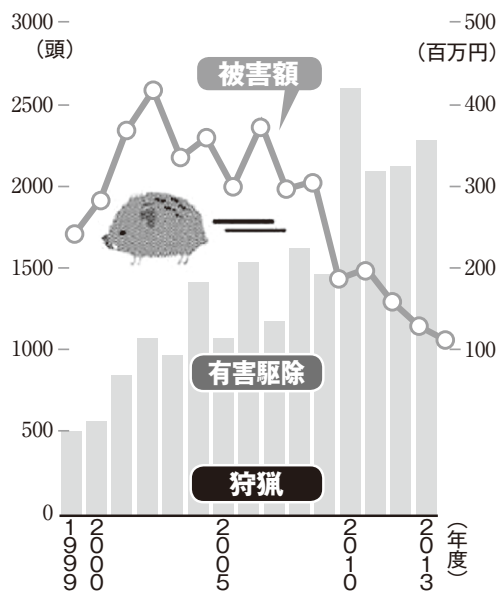
産業の振興について、害獣駆除の思い切った対策を進める考えは。

答

町長 当町では「駆除と防衛」の両面からさまざまな獣害対策を行ってきた。過去3年間の平均で猟友会によりサル・シカ・イノシシ合わせて1,868頭を捕獲していただいております。県下全域の平均捕獲数966頭に比べても、2倍近くの捕獲数となっている。捕獲活動を行った結果、農作物への被害額も年々

有害獣の被害は

年々減少 町長



県内のイノシシ捕獲数と農作物被害額

その他の質問

● 地震から町を守る対策について
● 医療・介護・福祉のまちづくりについて

減少している。また、昨年度は、当町の水産農林課職員が県の獣害対策指導者育成講座の講師として、県内の獣害担当者向けの研修も行った。

南伊勢町議会基本条例

を制定

地方分権改革の進展により、地方自治体の権力強化がされ、それに伴って議会の機能強化が不可欠になってきました。

当議会では二元代表制のもと、議会と構成する議員も資質を高めるために「議会改革特別委員会」を設立し、研修会や議員間討議をおこなってきました。しかし、議会改革を進めるためには議会活動の根幹をなす「南伊勢町議会基本条例」を制定することが第一と考え、1年半にわたり検討を進めた結果、27年第2回定例会に委員会発議として上程し、全員賛成のもと承認されました。



★目次

- 前文
- 第1章 総則
(第1条―第3条)
- 第2章 議会及び議員の活動の原則
(第4条・第5条)
- 第3章 町民と議会との関係
(第6条)
- 第4章 町長と議会との関係
(第7条―第9条)
- 第5章 議員間討議
(第10条)
- 第6章 議会改革の推進
(第11条・第12条)
- 第7章 議会及び議会事務局の体制の整備
(第13条―第16条)
- 第8章 議員の政治倫理並びに定数
(第17条・第18条)

● 第9章

最高規範性及び見直し手続き
(第19条・第20条)

● 附則

★前文(一部抜粋)

南伊勢町議会は、町民によって選ばれた議会の議員で構成し、二元代表制の下、町長及び執行機関と健全な緊張関係を保持しながら、町の政策決定機能及び立法機能並びに町長等の事務事業の監視機能を十分に発揮し、真の地方自治の実現を目指すものであります。



議会改革特別委員会では基本条例を最高規範として引き続き当町議会及び議員の活動の活性化と充実のため、絶え間ない努力をしていきたいと考えています。

議員視察レポート

九州地方の先進町を訪問

6月24日から26日までの2泊3日の行程で、宮崎県・熊本県・福岡県内の行政の各分野で先進地として活躍する町を訪問し、視察を行いました。

単独で頑張っています

宮崎県三股町は、町域の約70%を山林が占める人口25,518人の町です。東側は山地、西側の市街地は都市と隣接し、田園風景が美しいベットタウンとなっています。平成の大合併をよそに、単独で産業の振興、教育の発展に町民こぞって努力し、今もなお人口が増加傾向にあり、県内15歳未満の人口比率が1位となっています。

視察の目的は、地元特産品を町内唯一の（私立）都城東高校調理課とコラボし、「地産地消料理コンクール」を中心に、地産地消から6次産業フードビジネスへの展開を積極的におこなっている現場を見ることです。

地産地消推進協議会が中心となり、黒ゴマ・金ゴマ・サトイモ、それにハーブやプチベールなどの農産物と、牛肉を中心とした畜産物を食育、農育を通じて町民に浸透させ、学校給食



「地方創生」を先行して

宮崎県綾町は、町域の約80%が森林で、日本最大の照葉樹林を活かした景観のまちづくりによって、平成24年には「ユネスコエコパーク」に登録された人口約7,200人の町です。

有機農業を積極的に進め、農産物のブランド化に成功し、恵まれた自然を活かしたまちづくりの成功例として全国に有名です。その影響から近年、ふるさと納税の納税額が爆発的に増加し、テレビや、マスコミなどにも取り上げられ、全国的に注目を浴びています。

しかし、私たちが一番着目した点は、平成3年から大規模なスポーツ施設の整備を進め、全国からプロをはじめ、実業団・学校関係のスポーツ合宿、試合や大会で、年間350団体、延べ25,000



人を受け入れていることです。これに伴い、町内での食料消費で約1億円、観光客も100万人誘致でき、その結果、若者定住や小学校児童数の増加、雇用の創出などの成果が出ているとのこと。町の特色と先見の明によって、持続可能なまちづくりを進めてきている印象を受けました。

障がい者が

自立できる

まちづくり

熊本県美里町は「小さくてもキラリと光る私たちのまち」をキャッチフレーズに中央町と砥用町の2町合併により誕生した町です。熊本県のほぼ中央に位置し、熊本市から車で40分程度の距離にあり、山地丘陵部が多く、町域の約75%を森林が占めています。

同町には社会福祉法人が運営する「障害者総合支援センターゆきぞの」があり、施設長の松本保孝氏から、障がい者の総合支援について講義を受けました。「ゆきぞの」は障害者自立支援法の施行に伴い、グループホーム事業を入所型から地域生活型へ転換させました。

その成果には、①地域行事や外出以外にも地域住民との接点が増え、利用者への理解が深まった。

②利用者にとっても集合化することによって、地域の中での少数感より「仲間のエリアができた」という連帯感・安心感を得ることが出来た。などといったことがあるそうです。

また、行政側から見たメリットとしても、①お金のかからない移住政策 ②地方交付税の算定に加算 ③ほぼ全員が町内での消費者 ④グループホームで使う食材は、町内業者に年間約3,000万円分の発注などを挙げられています。

講義の後、実際に町中にあるワークセンターや、利用者が住んでいるグループホームの内部を見学しました。

町民に開かれた 議会を目指して

福岡県大刀洗町は、福岡市の南東30km、筑後川の北岸に位置し、面積22平方km、人口約15,000人の長閑な田園風景が広がる小さな町です。

町名は、南北朝時代の武将菊池武光が大原合戦の後、血まみれた刀を小川で洗った故事に由来しているとのことでした。また、同町も、平成16年に実施した住民投票の結果を受けて、合併をせずに単独の道を選択したとのことです。

同町の議会は、より活発な議会を目指して、議会基本条例の制定や日曜議会の開催、議場・委員会へのタブレット端末の持ち込みの施行実施、議会モニター制度などに積極的に取り組

組んでおり、あくまでも町民に開かれた議会活動を目指している姿勢を強く感じました。研修の中では、これまでに実施したこれらの取組のメリット・デメリットについて、それぞれ意見交換がこなされました。

また、当町議会の議員からも、議会答弁の追跡調査や、議案に関する自由な議員間討議、執行部の反問権について、質問や意見が数多くあり、有意義な研修の場となりました。

【総括】

今回の議員視察は、当町が抱える大きな問題である「少子高齢化がもたらす人口減少」をテーマに、政府が進める地方創生をリンクさせ、住みやすい地方・地域づくりで活性している先進地視察を目的におこないました。

各議員もおかれてある立場、状況をよく理解しており、訪問各町の事前研究を準備して、研修に臨んでいました。

かなり忙しく厳しい視察行程となりましたが、全体を通して有意義な研修となりました。

- やはり元気で結果を出している町は共通して、それぞれの特色（自然や産業）を最大限生かしていることと、町民や地域の人々が自ら率先して活動しており、



それを行政が後押ししている図式が明確になっていたことです。

- そして更に、リーダーとなつている人が現状に満足せずに、10年後、15年後の先を見て何か手を打っているところの伸びしろが大きいということを理解できました。

つぶやき

■心も体も元気でありたい！

何年か前から、健康を考えて歩く人がとても多くなってきたように思います。

朝、仕事に向かう時や帰宅する時、夕飯を食べた後は何人かのグループで歩いているのを見かけます。「テクテク人口！」（これは私が勝手に呼んでいるのですが・・・）の増加は喜ばしいことです。また、夕飯を終えて、所々で夕涼みをしながらくつろいで話をしている人達もよく見かけます。

私達は健康的により良く生きていくには、バランスの良い食事を摂り、適度な運動を習慣づけて、人との交流を楽しみながら、高齢者が多いけれど、明るく元気な町!!を目指したいものです。

（50代女性）

■ええなぁ南伊勢町

最近、南伊勢町が活気に溢れているような雰囲気が感じられます。役場・町議会議員・商工会・観光協会・各地域の活性化団体・ブランド委員会・各個人事業所などなど、フェイスブック、ツイッターなどで商品を発信したり、南伊勢町を紹介したり、たいみーが地域外に出て町をアピールしている。来年は伊勢志摩サミットが行われる中、南伊勢町も世界から脚光を浴びるように、私自身もがんばってアピールしていきたい。

（50代男性）

■地方創生って何なん？

わたし生まれてから一回も地元を離れたことないんさ。高校も南勢高校、就職もここやったし旦那も地元…。いまだに街にあこがれるし、子どもらの教育も考えたらやっぱり最低でも伊勢や松阪やと思う。海の仕事も減っとるし、時給700円のパートしに遠いところまでいかなあかんし、でもいまさら引っ越ししたないしなあ…。テレビで地方を元気にするって言うとるけど、わたしら何をすればええの？子どもらは街へ出ていくしかないわさな…。いろいろ考えると減入ってくるわ。

（40代女性）

あなたも つぶやきませんか？

どんなことでも大丈夫です（^^） /

みんなでつぶやきましょう。

思ったこと、感じてることを200字程度でつぶやいて下さい。
※ハガキがFAXで送って下さいね。

〒516-0194

南伊勢町五ヶ所浦3057

議会事務局 宛

FAX 0599-66-2164

みんなの

■今から楽しみ

4人の子どもは、全員町外で暮らし、普段は一人で先祖とだんなの墓を守っている。今の暮らしが「寂しくない」と言えうそになるが、大好きなふるさとで、自分で出来ることをやり、むかしからの知り合いと話をしながら生活するのも楽しいものだ。お盆には、子どもたちが、孫を連れて帰ってくる。孫たちもいつまで来てくれるかわからないけど、食べさせたいものがいっぱいある。

(70代女性)

■ふるさと

海のない街から嫁ぎ、早20年。ようやくこの町が自分の「ふるさと」と思えるようになってきた。最初の頃は親戚のおじさんに生きたタコをもらっても、どう調理していいのかわからなかったけど、今ではきれいにぬめりがとれるようになったし、「カツオ」もそれなりにおろせるようになった。子どもが小さい頃は、夜の急な発熱におどおどしたが、なんとか元気に育ってくれた。とにかく魚がおいしい。これからも漁村のおばさんとして生きていこうと思う。

(40代女性)

■新しい魅力を創って！

今年は南伊勢町誕生10周年という節目だと最近知りました。合併からもう10年も経ったのかと、月日の流れる早さにただただ驚いています。少子高齢化でどんどん人が少なくなっていくなかで、住み良い街になってきたという実感はないですが、さらに合併20周年を目指して議会の方には頑張っていってほしい。

海と山があり、住むにはいい所だと思うけど、地震津波の心配や仕事をする場がないとか、若い子が心配していることは山積していて、将来を考えると新たに家を建てていこうとは思えないのかもしれませんが。役場には今の街の魅力を伝えるのもいいけど、魅力を作っていく新しい考えの街づくりをお願いしたいです。応援しています。

(60代女性)



みんなでやっとなで～

町内のがんばっている人を紹介します！

南伊勢シーガルズ



設 立 平成24年 4 月

部員数 11名

私たち「南伊勢シーガルズ」は1年生から6年生までの11名で活動しています。毎週月曜日と木曜日は19時から21時まで南勢中学校体育館で、水曜日は学校が終わってから放課後に南勢小学校体育館で練習しています。

スポーツを通して努力することや礼儀、友達との友情を深めていってくれることを願い、大人たちは見守っています。

一緒にバスケットボールをする仲間、子どもと一緒に夢を追うお父さん・お母さん大募集！初めは練習も週に1度からでもOKです。少しでもバスケットボールに興味のある子は気軽に見学にきてください。シーガルズではバスケットボール以外のお楽しみも色々企画しています。

【連絡先】 畑やえみ 090-7046-8627

募

集

議会だよりでは町のがんばり屋さんを募集しています。自薦他薦は問いません。
※下記の議会事務局まで

議会広報特別委員会

委員	副委員長	委員長
倉田 育	河村 健志	東 伊久雄
	掛橋 靖	田中喜一郎

議長 上村 久仁



議会を傍聴しませんか

9月定例会が開催されます。
開催は9月8日～14日の予定です。
ぜひ傍聴してください。
(当日、総務課で受付をしてください。)

議会だよりについて
のお問い合わせなどは、
議会事務局までご連絡
ください。

☎ 0599-661781
FAX 0599-2164



今年は例年より台風の発生が多そうです。昨年7月に発生した台風8号は、日本各地に大きな被害をもたらしました。これから、本格的な台風シーズンに入りますが、平素から、災害への備えは充分にしておきたいものです。これから、まだまだ暑い日が続きます。体調管理が難しい季節ですが、どうか皆さま、お体をご自愛下さい。

編集後記

